

# 委員会活動報告

総務文教  
常任委員会

## ■総務常任委員会行政視察 <2018年10月22日 - 24日>

糸島市議会に3つある常任委員会(総務文教・市民福祉・建設産業)は、年に1度行政視察に行きます。私の所属する総務常任委員会では、「公共施設再配置事業」「対話による市民協働のまちづくり」「小中一貫教育」のテーマで神奈川・静岡県にある3市を選定し、視察に行き参りました。

### 神奈川県秦野市 目的：公共施設再配置推進事業について

秦野市では、昭和50年代に現在の建物の1/3が竣工され、築30年以上の建物が、平成30年にはおよそ3/4に達し、老朽化対策が急務となっている。急激に増えた人と建物は、同時に歳をとり、同時に多くの予算が必要になる。その中で秦野市では、公民連携によるマネジメントなど、市役所敷地内にコンビニエンスストアの誘致や保健福祉センター内に郵便局を誘致するなど賃料収入を得たり、誘致施設で市の業務を行ったり等の取り組みを行っている。



▲秦野市役所敷地内にあるコンビニ。24時間各種行政サービスを受けられる。

### 静岡県牧之原市 目的：対話による市民協働のまちづくりについて

牧之原市の、協働のまちづくりという理想は“失敗”から始まり、先進地と呼ばれるまで、十数年の試行錯誤があった。「より話しやすい雰囲気醸成」「事前の密な打ち合わせ」「市民の“生”の意見をj得る」というメリットがある『市民ファシリテーター』(=良い会議へと導く進行役)の育成に力を入れており、牧之原市自治基本条例・津波防災まちづくり計画・第2次総合計画・公共施設マネジメント計画策定など、様々な場面で活躍されている。



▲牧之原市の各種計画を策定する、「対話の場」のイメージ図。

### 静岡県静岡市 目的：公立小中一貫教育について

「静岡型小中一貫教育」は、①学校の教育目標の共有②9年間の連続性と系統性のある教育③協働や交流のある教育④地域と連携する教育の4つの視点を重視。具体的には、小中学校生徒の合同授業や児童生徒リーダー会、ICTを活用した交流、小中学校の教員がお互いの授業や教科書を見合って次の授業を検討する等の取り組みを既に実施している。また、小規模特認校制度の活用も進んでおり、不登校の解消等の効果もあり、今後利用者の増加を見込んでいる。

議会活動に  
関する  
調査特別  
委員会

■議会のICT化(情報通信技術)について：本年度より議会専用の検索システムの導入が決定しました。過去の議案や条例等、瞬時に検索できるシステムで、6月度定例議会より、議場へタブレット端末やノートパソコン等の持込も可能となりました。今後も時代の潮流に合わせ、ICT化による業務の効率化やコスト削減を目指し、議論を進めて参ります。

広報委員会

■これまで広報いとしま内の「糸島市議会だより」を、より分かりやすく・興味を持っていただけるよう取り組んで参りました。そしていよいよ、6月議会(8月発行)分より別冊化が決定いたしました。タブロイド判(新聞判型のひとつ)となり、掲載内容も大幅増へ。これまで以上に様々な議会の情報をお伝えできますので、楽しみにお待ちください。

## 川上伸悟プロフィール

昭和53年に旧前原町川付で生まれ育つ。大学卒業後、「人の役に立ち、喜んでもらえる仕事」を軸に学習塾の塾長、結婚式場の支配人や東京本社マネージャーを経て、2018年1月糸島市議会議員選挙に出馬し初当選。西南学院大学経済学部卒。

## 川上しんご連絡先

〒819-1155 糸島市川付237番地  
Tel/Fax : 092-322-4298 Mail : sbys.kawakamishingo@gmail.com

いとしま!  
よか故郷  
いっちゃん

討議資料



# 糸島市議会議員川上しんご 市政報告レポート 2019 春号 STEP BY STEP Vol.2



お陰様で市議会議員として1年間の活動が無事に終わりました。議会や委員会活動はもちろんのこと、実際に現地に出向き情報収集に努めたり、勉強会に参加したりと、様々な経験を積ませていただきました。元号も平成から令和へ。新時代の糸島市もさらに暮らしやすい街になるように、そして少しでも多く市民の皆様のお役に立てるように、『一歩ずつ』精進して参ります。

## 活動報告 <恋活 -こいかつ- in 白糸の滝 2018> 出逢い にきわい

### 「いっちゃん愛しい人と出逢うまち いとしま」

立候補時に、前職の経験を活かした「婚活」の推進を掲げておりました。目的は、結婚を通じて、市民幸福度の上昇、ひいては農家・漁業者、事業者の跡継ぎ問題解消を始めとする少子化対策の一環となればと考えております。

そこで、2018年10月28日に、白糸の滝ふれあいの里さんとゆとり舎さんの共同イベントに、企画・運営と全面的に協力させていただきました。

男性11名女性8名に参加いただき、なんとカップルが3組成立、そしてその中の1組がご入籍されたという嬉しいご報告も!今後も様々な形で、糸島が「愛しい人と出逢うまち」となるよう活動を続けて参ります。



自己紹介タイム



チーム制でやまめ釣り



いよいよフリータイム



美味しいそうめん舌鼓



## 一般質問を行いました 《2018年12月議会》

### ■ 一般質問とは ■

定例議会において、議員ひとりにつき60分間、市長や執行部に対し市政全般に関して報告や説明を求め、質問を通じ政策等を提言するもの。

## 白糸の滝関連施設の復旧見通しについて

2018年7月の豪雨災害にて、糸島唯一の観光地である白糸の滝が大きな損害を受けた。豪雨により県道から白糸の滝をつなぐ広域基幹林道が崩落し、また、駐車場に大量の土砂が流れ込み、公衆トイレが押しつぶされた。観光のピークである7月から9月の間で、2017年は14万2,600人だった観光客数が、2018年には9万7,700人となり、31%減と著しく減少。

**【質問】** 広域基幹林道の復旧スケジュールは。

**【答弁】** 林道の復旧までの工期は2019年3月20日の予定。

**【質問】** 土砂に押しつぶされた公衆トイレの復旧スケジュールは。また以前と同位置に設置される予定だがその安全性は。

**【答弁】** 公衆トイレはGW前の2019年4月26日迄に完成予定。安全性は本年度(平成30年度)、県の事業で崩落した谷の治山事業が行われ、トイレも従前の木造から鉄筋コンクリート製になるため、従来より安全性は高まると考える。

**【質問】** 完全復活と呼ぶには、復旧後の風評被害の徹底した払拭が重要である。ふれあいの里と連携して、SNSやマスコミなどへの積極的な情報発信や、やまめ釣りまつり、滝周辺ウォーキングイベントのPRの実施以外に、広告は検討しているか。

**【答弁】** GW期間中、志摩中央公園で9日間ほど連続してイベントが開催される予定なので、連携・協力をし、白糸の滝への観光客の誘導を行う計画をしている。



災害直後の、県道から白糸の滝を結ぶ林道



3月22日に通行止めが解除された

## 人口減少時代における学校の在り方について

メディアやベストセラー書籍等でようやく問題意識が高まってきた我が国の人口減少、超少子高齢化時代が、間もなく必ずやってくる。これから10年もたないうちに国民の1/3が高齢者に。また、たった22年後だが2040年には全国の自治体の半数が消滅する可能性にさらされている。そのような未来において、糸島の、この国の宝である子どもたちの教育を担う、学校の在り方について伺う。

**【質問】** 2018年6月に糸島市学校規模適正化検討委員会より検討報告が提出された。国の方針を踏まえ、学校規模適正化を進めることになった経緯は。

**【答弁】** 児童・生徒の減少に伴う学校の小規模化により、教育効果の低下など、諸問題が懸念されるようになる。子どもたちの良好な教育環境を確保するためには、学校規模の適正化が必要とされ、国は平成27年1月に小・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きを策定し、学校規模適正化を推進している。

**【質問】** 地域のコミュニティ、そして防災の核としての役割を果たす小学校が、仮に統廃合でなくなった場合、教育的な観点でどのような影響があるか。

**【答弁】** 通学時間が長くなる・新しい学校と地域との関わりが変わる・子どもを中心とするコミュニティの区域が変わる等の影響が考えられる。

**【質問】** 過疎化対策という視点からも、本市独自の特認校制度(※)を検討できないか。

**【答弁】** 今後、学校規模適正化を進める中で、一つの手法として検討可能である。

※特認校制度とは…施設に余裕のある学校を特認校として指定し、その特認校には、通学区域に関係なく条件を満たした方が希望により就学できる制度。東京都中央区には4校の小学校特認校があり、理数教育に力を入れた小学校や、国際教育に力を入れた小学校等、それぞれが特色ある学校づくりを行っている。



## 活動報告 《2018年9月-2019年3月》



保育園運動会



郷土のお祭り(宇美八幡宮)



常任委員会行政視察(静岡市役所)



常任委員会行政視察(静岡県庁)



糸島市自治功労者等表彰式



福岡マラソン スタート会場



町村議会広報研修会



長糸ふれあい文化祭



郷土のお祭り(寒みそぎ)



糸島市消防団出初式



糸島市商工会 新春交流会



福岡県町村議会議員研修会



糸農生と議員の意見交換会



もりもりひろがる森林づくり



「ありがとう平成」人文字